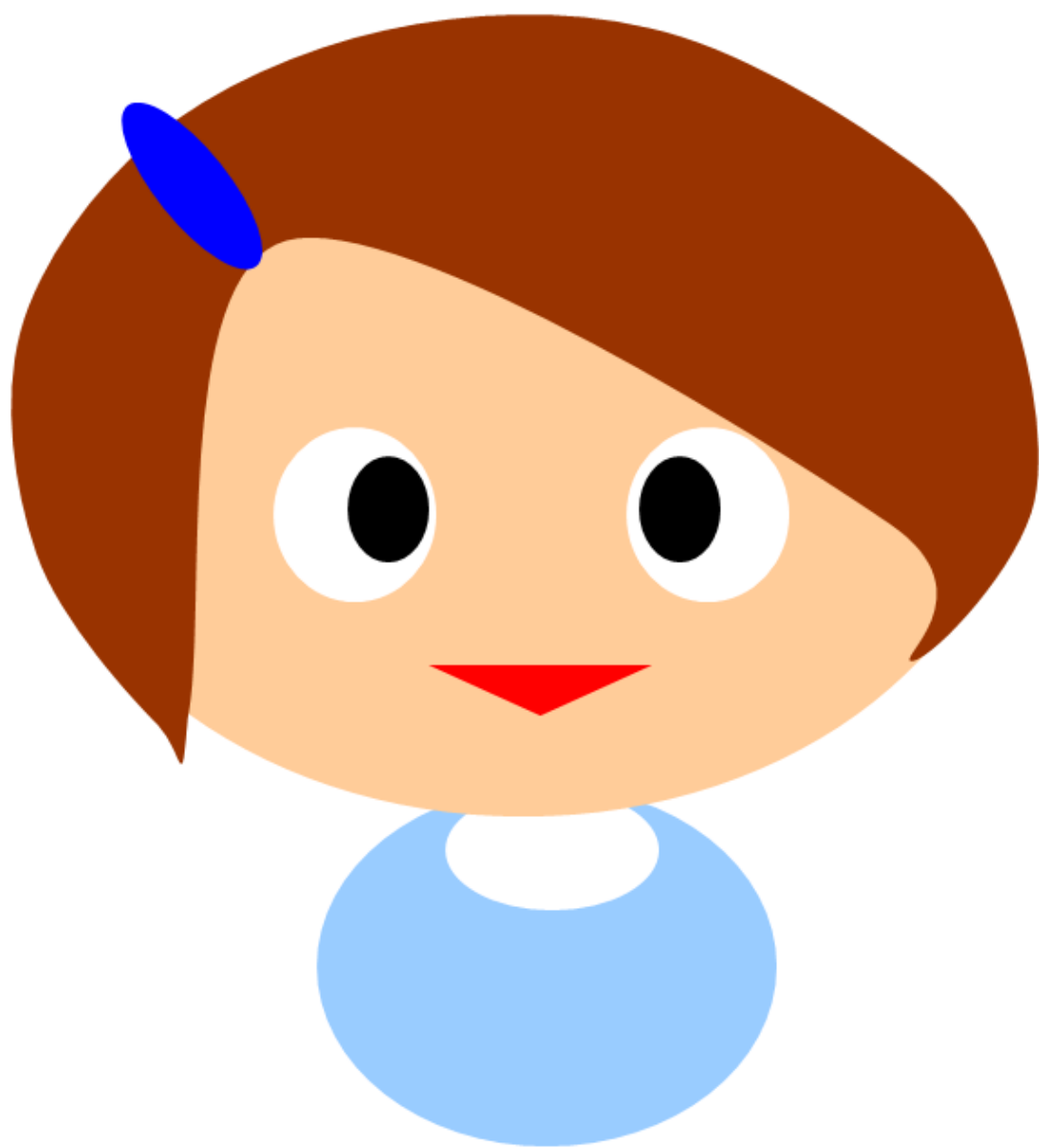


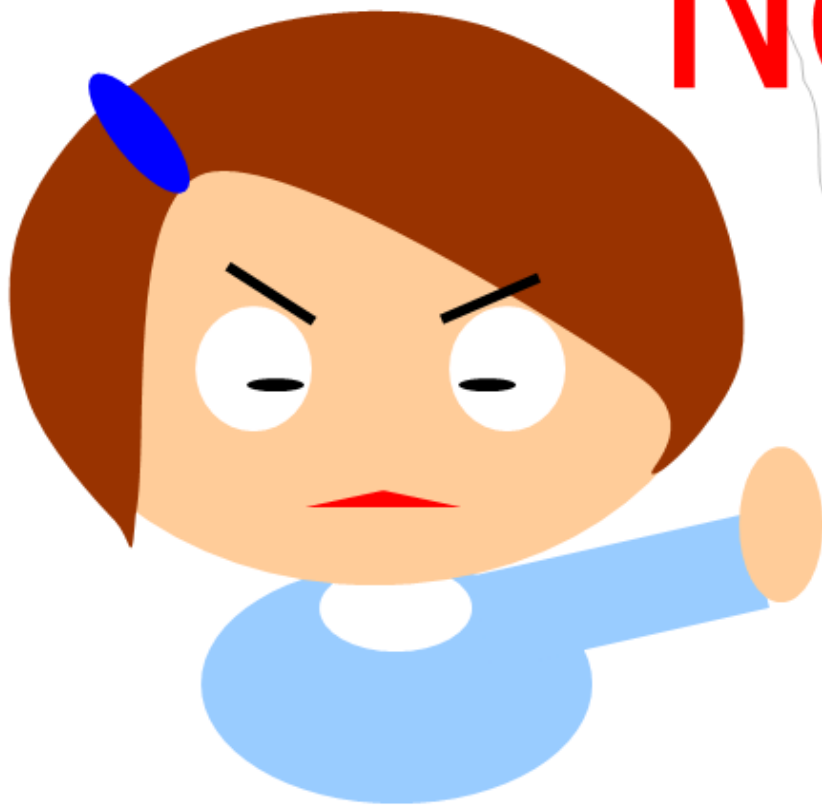
はこばれて きた木

ふくいの木環境読本シリーズ①
発行：福井県奥越農林総合事務所

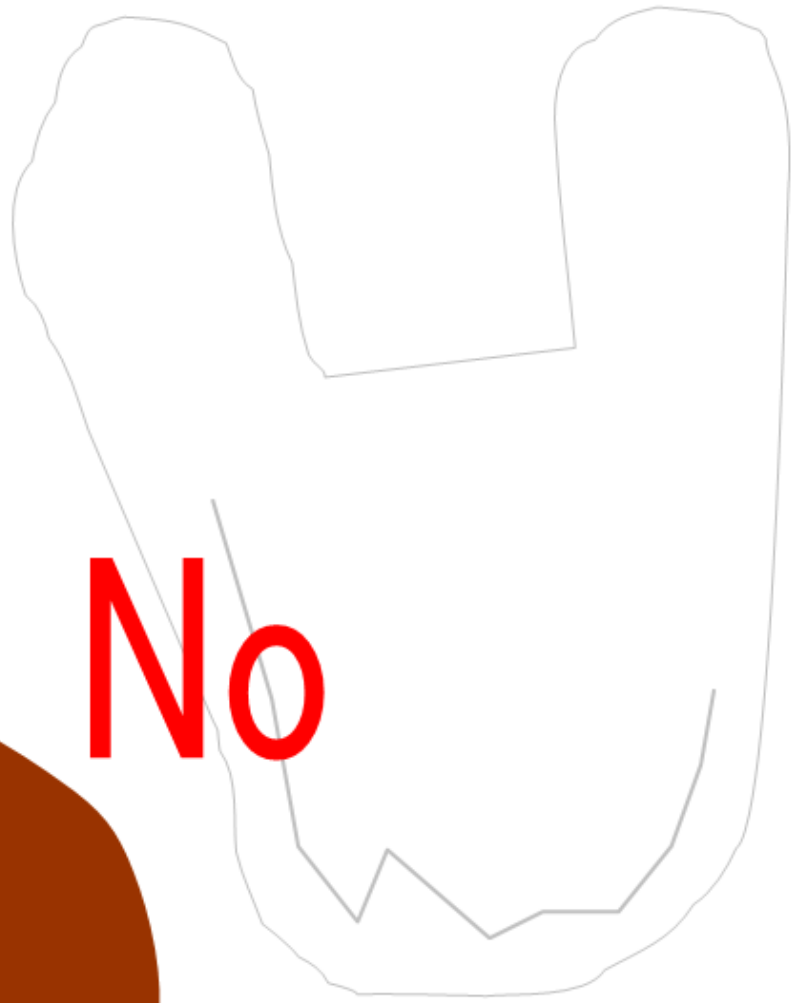




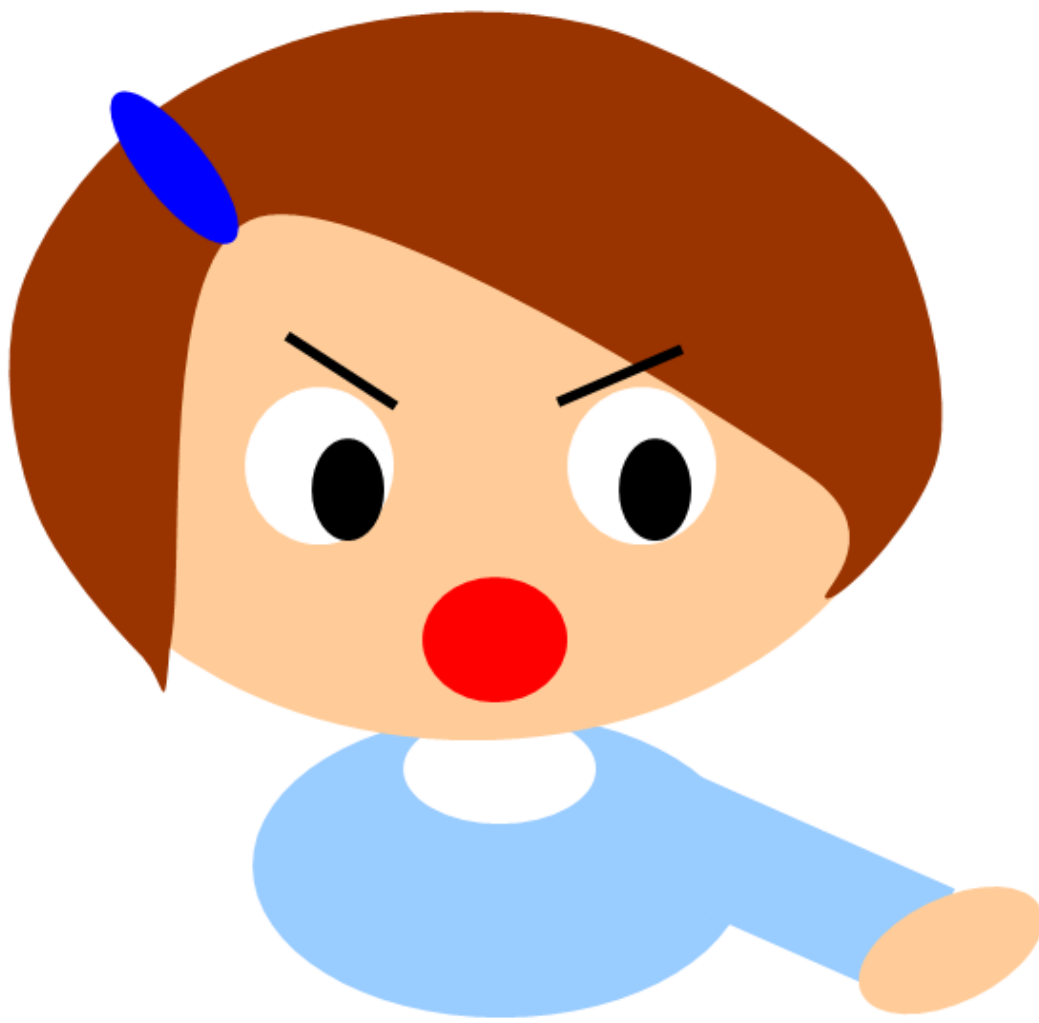
ケイさんは環境にとっても
気を使います。



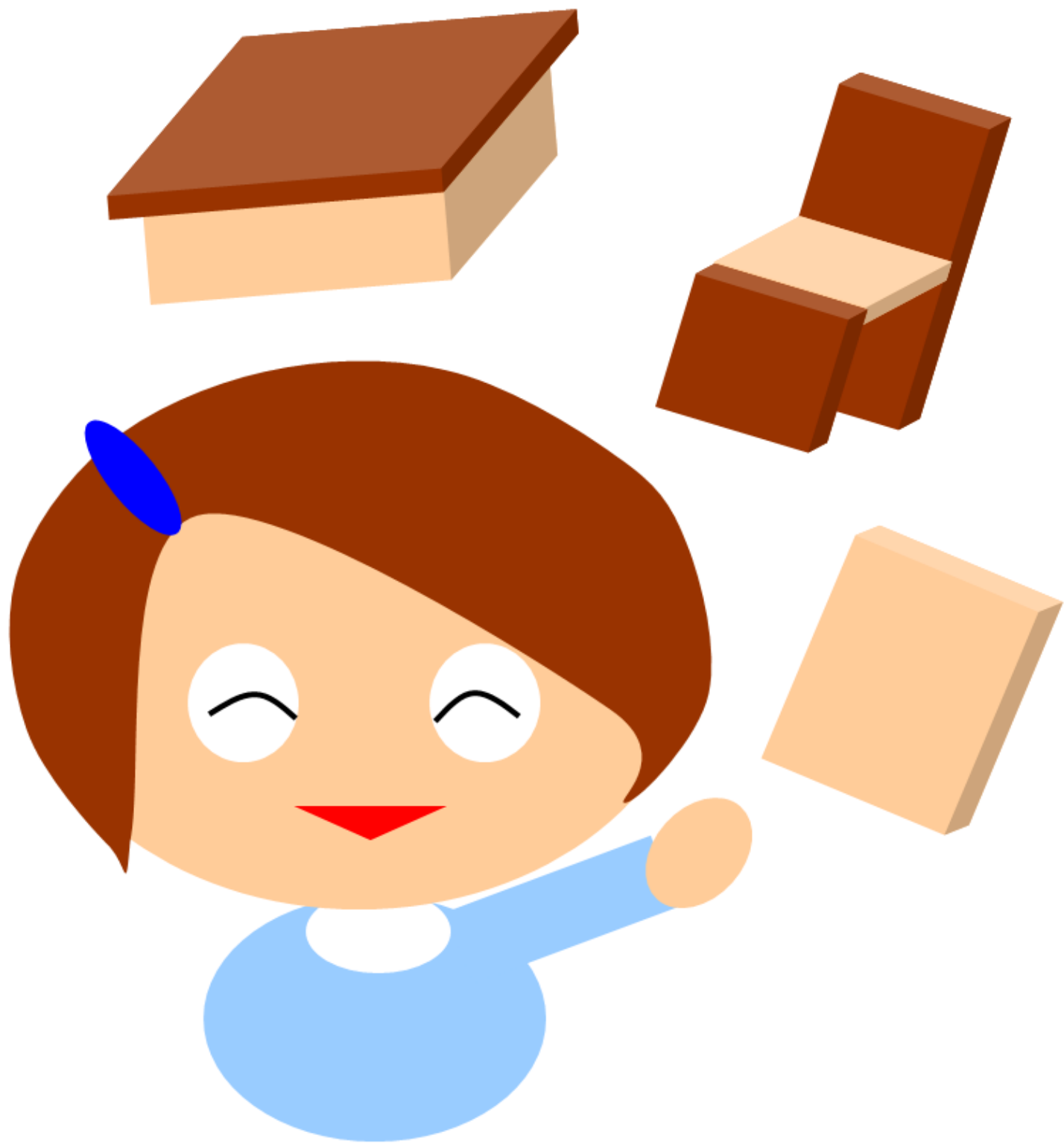
No



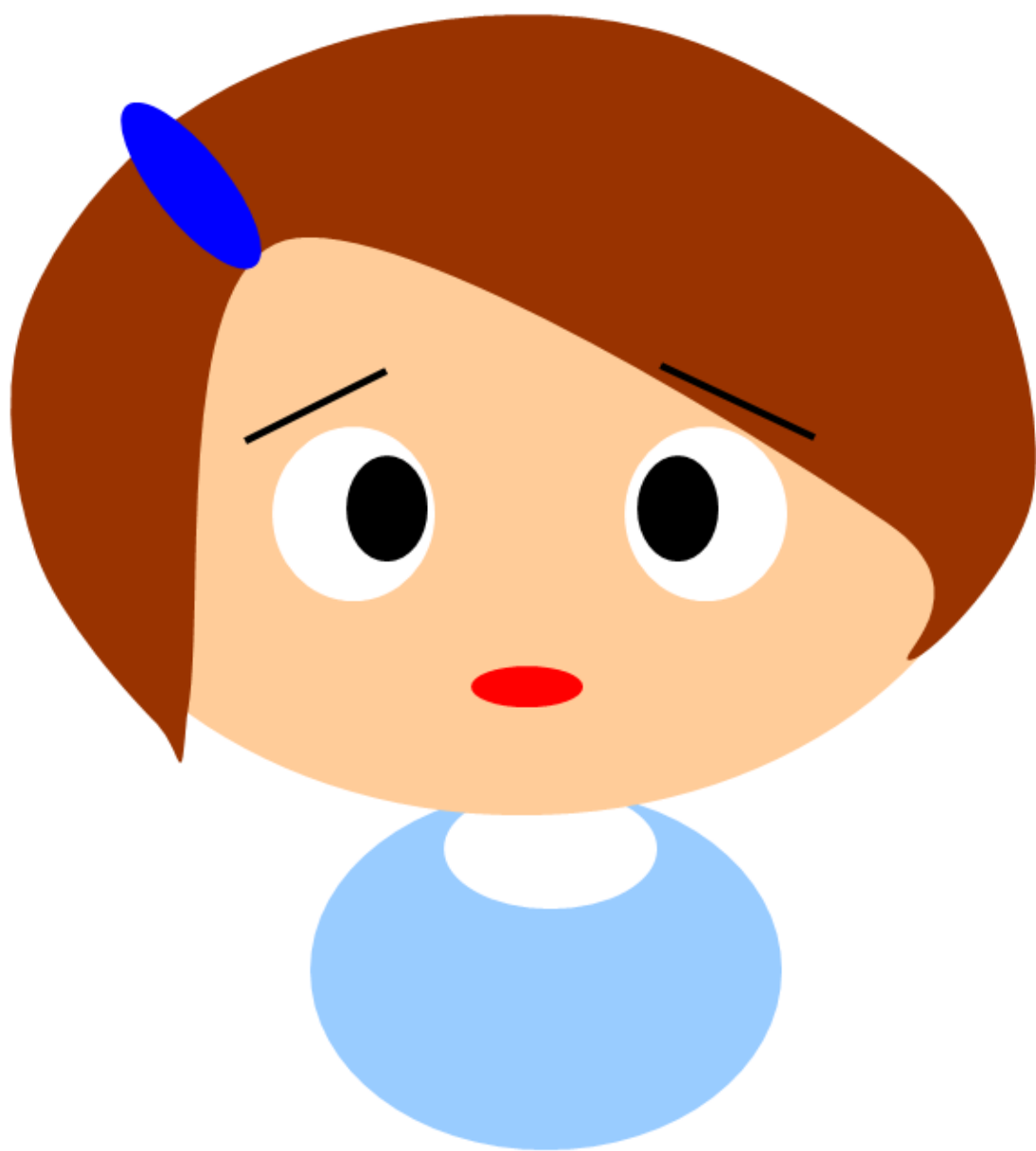
レジ袋はもちろん、おこ
とわり。



水の出しっぱなしも、許
しません。



最近では、地球にやさしいという木の製品も使っています。

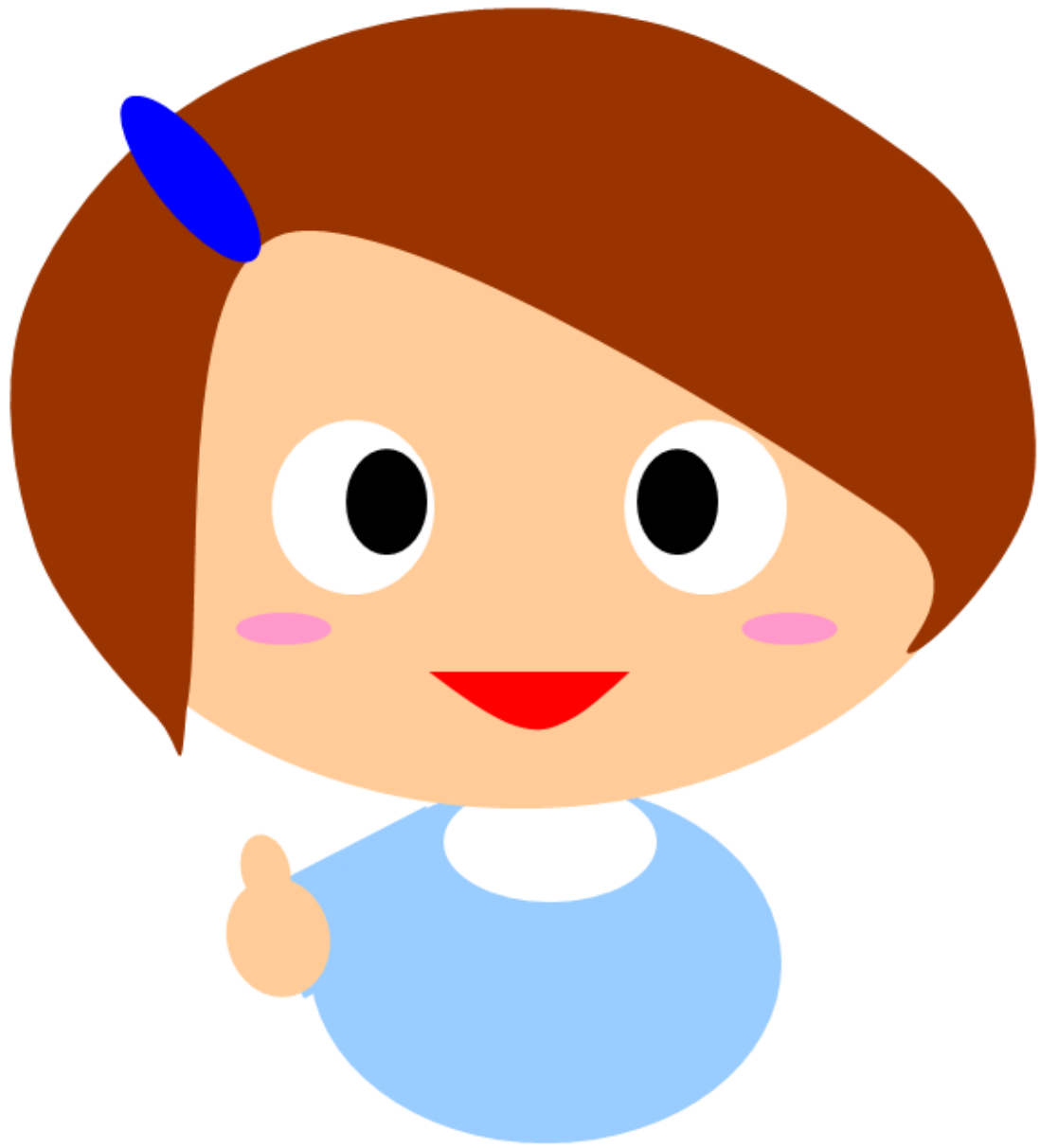


「でもケイさん。それは
どこの木で作られたもの
ですか？」



「もしそれが外国など遠くで伐られた木だったら、運ぶのにたくさんのエネルギーが使われていますよ。

地元の木を使わなきゃ・・・」



使うなら、
県産材（ふくいの木）
ね。

あとかき

近年、地球の温暖化が深刻な問題になっています。そのため、みなさんはエコバックを使ったり、電気や水の無駄づかいをなくしたり、日常生活でできることをしていると思います。

しかし、私たちは、知らないうちに環境に負担をかけていることがあります。

たとえば、家に使われている木。

間取りや水まわりは気にしても、家に使われている木を気にする人は、あまりいません。

日本は外国から多くの木を輸入しています。

遠くから木をたくさん運ぶということは、それだけエネルギーを使います。



しかし、県産材（ふくいの木）を使うと運ぶ距離が短いため少ないエネルギーですみます。

たとえば、すべてふくいの木で建てた家は、すべて外国の木で建てた家に比べて、1棟あたり約7500kgの二酸化炭素が削減されます。

これは、自家用車なら7万7千km分のガソリンに相当します。

「急にそんなこと言われても…」と思うかもしれませんが、まずは気にすることからはじめてみませんか？



——「どこの木が使われているのかな？」

県産材（ふくいの木）
についてのお問い合わせは

〒912-0016
大野市友江 11-10
福井県奥越農林総合事務所 林業部
林業・木材活用課
TEL 0779-65-1280（内線 415）
FAX 0779-65-1289